入室のしおり

令和7年度版

目的

- ◎児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指します。
- そのために、（１）学習指導を通して、基礎学力を補充します。
- （２）社会的自立に向けた生活習慣づくりを支援します。
- （３）相談活動や体験活動を通して、児童・生徒の自立を支援します。

入室対象児童・生徒

- ◎不登校及び不登校傾向にある児童・生徒等で、本人・保護者が入室を希望し、かつ校長により入室が適当と認められた以下のいずれかの者。
- （１）江東区立小・中・義務教育学校に在籍している児童・生徒
- （２）江東区に住所を有し、かつ当該住所地に居住している小・中学校の児童・生徒

指導形態

- （１）これまでの学校に在籍したまま通室します。
- （２）児童・生徒一人一人に応じた学習指導や相談、体験活動等を行います。

江東区教育委員会 ブリッジスクール

教室名	教育センター教室	東大島教室	南砂教室
住所	〒135-0016 江東区東陽2-3-6 (教育センター3階)	〒136-0072 江東区大島8-21-9-101 (旧 江東区立もみじ幼稚園)	〒136-0076 江東区南砂2-3-20 (南砂中学校内)
電話番号	03(3645)5277	03(5626)4571	03(5632)2210
対象	小・中学生	小・中学生	小・中学生

ブリッジスクールの主な活動内容

「Google Classroom」や
「ミライシード」を活用します。

(1) 学習指導・生活習慣づくり

一人一人の学習状況や興味関心に応じて、個別指導を行います。
一人一人に応じて通室回数等を設定し、基本的な生活習慣づくりを支援しています。

教育センター教室・東大島教室・南砂教室	
通室	一人一人の希望や状況、各教室の受入可能人数等に応じて相談のうえ、通室日数及び通室時間を決めます。
内容	①Chromebook 等を活用した個別学習 ◇学習支援員による支援を受けながら学習することもできます。 ＊南砂教室では、教員免許を有する指導者による学習支援を受けることができます。 ②自習時間（読書活動や製作活動含む） ◇一人一人が活動内容を選択して取り組みます。 ③振り返り ◇一日の活動を振り返ります。

(2) 社会性の育成

①小集団での共同活動「ふれあいタイム」

どの教室でも、実態に応じて、児童・生徒同士でかかわり合うことができる時間を設定しています。（例：工作やゲーム、季節の行事、運動 等）

②エンカレッジ体験活動

教室外での活動も実施し、様々な人とかかわりをもてるようにしています。

体験活動	対象	内容
①カヌー教室	希望者	豎川河川敷公園カヌー場や旧中川まで行き、専門とする指導員から教えてもらい、体験します。
②ボッチャ体験	希望者	「ボッチャ」の体験活動を行います。
③職場体験	希望者 (中学2年生)	近隣の図書館等と連携し、職場体験活動を行います。
④校外学習	希望者	都立・区立の施設等において、体験活動を行います。
⑤近隣施設訪問	希望者	近隣の幼稚園や図書館、児童館と連携し、各施設を活用して過ごします。

*エンカレッジ体験活動は、諸事情により中止することもありますので、ご了承ください。

(3) 進路指導【中学校3年生対象】

一人一人が主体的に進路を選択できるように、在籍校と連携しながら、支援します。

- ①作文・面接等の受験への支援
- ②高等学校等の関係者と連携した進路説明会や進路相談会の実施

(4) 教育相談

各教室に、スクールカウンセラーが配置されており、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しております。

学校との連携

(1) 出席状況の報告

ブリッジスクールの出席状況を月1回、各学校へ報告します。

(2) 「あゆみ」(学習状況等報告書)の作成

一人一人作成し、定期的にブリッジスクールでの状況を学校の校長先生や担任の先生方にも伝え、連携を図ります。

(3) 「ブリッジスクール訪問週間」の実施

校長先生や担任の先生方等がブリッジスクールへ訪問し、児童・生徒の様子を観察したり、相談員と面談を行ったりすることで、児童・生徒の今後の支援を共に検討します。

(4) 教員研修会等でブリッジスクールについて周知

校長会や副校長会、不登校担当者連絡会等でブリッジスクールの説明をし、学校との連携・協力を図っています。

保護者との連携

(1) 「あゆみ」(学習状況等報告書)の配付

一人一人作成し、定期的にブリッジスクールでの状況を保護者の方へも報告し、連携を図ります。

(2) 「保護者会」や「保護者参観日」の実施

保護者の方々にブリッジスクールでの活動の様子をお知らせいたします。

(3) 「個別面談会」や「進路相談」の実施

定期的に保護者会や個別面談会を実施することで、ブリッジスクールでの状況を報告したり、児童・生徒の家庭での状況等や成長した点などを共有したりしています。また、今後の支援方法も保護者とともに検討します。

関係機関との連携

(1) 教育センターや教育支援課と連携

教育センターの教育相談や教育支援課のスクールソーシャルワーカー等と連携を図り、児童・生徒のよりよい支援方法について検討していきます。

(2) 関係諸機関との連携(こども家庭支援課や子ども家庭支援センター等)

児童・生徒の悩みや保護者の子育ての悩みの解決のために、関係機関とも連携していきます。

(3) 江東区立幼稚園、図書館、児童館との連携

保育体験、職場体験や自主学習、校外学習等で協力・活用しています。

入室までの流れ

1	見学	保護者が直接、または学校を通してブリッジスクールに見学を申し込みます。
2	面談	原則、校長が、本人・保護者と面談し、入室の意思や今後の支援方法等について、話し合います。 【入室申込書の作成】
3	ブリッジスクールにて面談	本人・保護者とブリッジスクール相談員が面談し、今後の通室回数や通室目標などについて、話し合います。 【入室申込書を保護者が持参・入室調査票の記入】
4	入室	入室の約束を守り、通室を開始します。入室について教育委員会に報告します。

入室の約束

【通室方法】

- 小学生の通室は、保護者の送迎を基本としますが、やむをえない事情で送迎が困難な場合には、事前に各ブリッジスクール相談員までご相談ください。
- 徒歩または公共交通機関を利用することを原則とします。

【持ち物】

- Chromebook や学校で使用している学習用具を持ってきてください。

【通室するみなさんへ】

- 学習の始まる10分前を目安に通室しましょう。
- 帰る際は、職員に声を掛けてから帰りましょう。

【保護者の方へ】

- 欠席する場合は、当日の朝までに電話で連絡をしてください。
- 保護者会や個別面談会への参加にご協力ください。
- 上記の他、各教室には安全等を確保するための約束事があります。
- ご不明・ご不安なことは、随時、各ブリッジスクール相談員までご相談ください。